

■平塚らいてう 女性解放運動家。〔青鞥〕発刊，女権宣言して大正デモクラシー先駆，戦後，日本婦人団体連合会初代会長に。

ひらつからいちょう
帝国大学始・1886＝ 東京麹町三番町で三女に生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 3歳： 父平塚定二郎は和歌山藩士で会計検査院次長となる高級官僚，母は田安家の典医の娘という知的で裕福な家庭に育つ。

日清戦争始・1894＝ 8歳： 富士見小学校に入学，
日清戦争終・1895＝ 9歳： 一家の本郷曙町への転居に伴い，誠之小学校に転校，

子規句歌革新1898＝12歳： 女子師範学校付属高等学校に入学，

日比谷公園・1903＝17歳： 日本女子大学校(のちの日本女子大学)家政科に入学。

日露戦争始・1904＝18歳：

日露戦争終・1905＝19歳：

満鉄発足・・1906＝20歳： 卒業後，公案を解決して慧薫の安名を許される。

韓国反日暴動1907＝21歳： 成美女学校で英語を学び，同校に開設された闊秀文学会に青山(山川)菊栄らと参加，生田長江・与謝野晶子・馬場孤蝶らの指導で短歌や小説を書き，短編小説「愛の末日」を契機に，妻子ある森田草平と親交，塩原へ逃避行して，心中未遂事件と報道され，スキャンダルとなった。草平がこの事件を小説「煤煙」にして一躍流行作家となる間，汚名にも超然として禅の修業に励み，

伊藤博文暗殺1909＝23歳： 兵庫県西宮の海清寺で全明の大姉号を受ける。

大逆事件判決1911＝25歳： *生田長江にすすめられ，母から資金を出してもらい，中野初子・木内錠子・物集和子と，日本初の婦人文芸集団を興し，長江の名づけでイギリスの女性サロン“ブルー＝ストッキング”に倣って青鞥社とし，同人誌〔青鞥〕を発刊。らいてうの筆名で，創刊号(表紙挿画は高村智恵子)に女権宣言’元始，女性は太陽であった’を書き，以後，編集と経営にあたりながら，「円窓より」と題する評論や劇評を発表。

明治天皇没・1912＝26歳： 尾竹紅吉の「五色の酒」「吉原登楼」が事件となり，青鞥社の新しい女性が世間から集中砲火を浴びると，大正政変・・1913＝27歳： *みづから〔中央公論〕に「新しい女」を発表して反撃，〔青鞥〕でも「新しい女」を特集，2月号・4月号が発禁となったが，世間の婦人問題への関心を高める結果となった。みづからの処女評論集「円窓より」が発禁になると，その部分を削除し，「扁のある窓にて」と改題して刊行，評判となる。

第一次大戦始1914＝28歳： 年下の画家奥村博史と同棲，愛の共同生活をうたい，家族制度に従って夫の家に入籍することを拒んだ。

21ヶ条要求・1915＝29歳： 長女を出産。_過労から千葉県御宿で静養中に，伊藤野枝の申し出をうけて〔青鞥〕の経営と編集を譲る。

民本主義・・1916＝30歳： 博史の発病，

ロシア革命・1917＝31歳： 長男出産と，育児や看病に追われながら，評論活動を続け，

本格政党内閣1918＝32歳： 与謝野晶子と母性保護論争を行う。

大暴落・・・1920＝34歳： *奥むめお・市川房枝らと新婦人協会を結成，機関誌〔女性同盟〕を発刊して，婦人参政権運動を展開した。

原敬首相暗殺1921＝35歳：

水平社結成・1922＝36歳： 健康を害して辞任，府下砧で田園生活を送る。

世界恐慌・・1929＝43歳： 昭和に入りアナーキズムに接近し，

海軍軍縮条約1930＝44歳： 居住地成城に，消費組合〔我等の家〕を設立。

満州事変・・1931＝45歳： 高群逸枝らの無産婦人芸術連盟に参加した。

日中戦争始・1937＝51歳：

健保+総動員 1938＝52歳： この年まで〔我等の家〕による地域活動を続けた。

大政翼賛会・1940＝54歳：

日米開戦・・1941＝55歳： 拒んできた奥村家への入籍も実行。

敗戦・・・・1945＝59歳：

_敗戦後は，

三大事件・・1949＝63歳：

朝鮮戦争始・1950＝64歳： アメリカのダレス国務長官への平和アピールを行うなど，_平和運動のシンボルの存在となり，

独立回復・・1951＝65歳：

TV放送始・・1953＝67歳： _日本婦人団体連合会初代会長。

55年体制始・1955＝69歳： 自伝「わたくしの歩いた道」。

インスタントラーメン 1958＝72歳：

安保闘争・・1960＝74歳：

全国総合計画1962＝76歳： _新日本婦人の会代表委員なども務めて，

美濃部都知事1967＝81歳：

トﾞルショック・・1971＝85歳： _没した。

「日本史重要人物101」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，「日本の群像」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，「目でみる日本人物百科」，「女たちの20世紀・100人」，「日本の女性」，